

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P2で紹介している南国リゾート感溢れるキングプロテア。



LINE UP

ラインナップ

S

【特集1】熱海港から25分のアイランドリゾート・・・P2

静岡県唯一の有人離島『初島』。この小さな島には魅力が満載。
初島の散策、食、アクティビティについて、ご紹介します。

E

【イベント】4月～6月の主なイベントをご紹介します・・・P4

- ◇第1回姫の沢トレイルランニング
- ◇ジャカランダが見頃を迎えます
- ◇春季海上花火大会

A

【熱海のココスキ!!】 「自然公園の醍醐味」・・・P5

姫の沢公園施設の佐藤施設長に、ゴールデンウィークにはご家族連れで賑わう姫の沢公園の魅力についてお話を伺いました。



静岡県で唯一の有人離島『初島』は、熱海港の沖合い約10キロメートルにあり、一周4キロメートルという小さな島。しかし、この小さな島には、食や花・アクティビティなど大きな魅力が満載です。今回の特集は、ゴールデンウィークにはとことろ天まつりでにぎわう『初島』を紹介します。

島内を散策！！

初島は周遊道路が整備されているため、約1時間で島を1周することができます。

島に魅力的なスポットが盛りだくさんなので、春の穏やかな日差しの中、ゆっくりお散歩してみたいいかがでしょうか。

まず、1つ目のスポットは、初島公園。3月下旬から6月上旬には、『キングプロテア』の花が見頃を迎えます。キングプロテアは、南アフリカ原産で小さな花が無数



に集まり一本の枝に大きな花のようなもの(花序)となって、その周りを花弁のような苞(つぼみを包む葉)をもつのが特徴で、大きなものでは30センチほどにもなります。このキングプロテアが初島公園には250株植栽されており、南国ムードを醸し出します。

また、自然を感じながらホテルなみの快適さでキャンプできる『グランピング』。島の中央部には、このグランピングが体験できる宿泊施設もあります。都会から90分の初島でグランピングデビューしてみたいいかがですか。

初島にはリゾートだけでなく、歴史的なスポットも存在。江戸城修築々石採取跡があり、巨石が多く見られます。江戸時代(1590年)、幕府は江戸城を最大の城郭にするために、西国の大名たちに海上より石材を運ぶことを命じました。石材の発掘は相模の真鶴から伊豆の稲取にかけての一带で、熱海市内にはここ以外にも、2016年3月1日付けで正式に国指定史跡となった江戸城石垣石丁場跡などがあり、江戸城と伊豆の歴史に思いを馳せることができます。

また、日本で15基しかない登れる灯台『初島灯台』もオススメ。灯台の外側に螺旋階段があるのは日本で唯一となっています。この螺旋階段を上って見ると、晴れた日には世界遺産の富士山も見えるほか、伊豆大島や三宅島・利島・新島・神津島などの伊豆七島のうちの5島が、また江ノ島や遠くは房総半島まで360度のパノラマが広がります。

●初島灯台 定休日:無休(荒天の日を除く) 参観時間:午前10時~午後4時 参観料:大人200円、小人無料

お問合せ: (社)燈光会初島支所 Tel 0557-67-3100

ダイビング

初島はダイビングでも人気のスポットで、初級者から上級者までが楽しめます。船に乗らずともビーチからそのままエントリーできるのも魅力。

また、初ビーチエントリーでも、急深になっているので、タカバやエイなどさまざまな種類の魚を観ることができ、魚影の濃さも抜群です。

ダイビングでお腹が空いたら食堂街で新鮮な魚を召し上がれ。



“ところてん祭り”



初島は海に囲まれていることから、魚だけでなく海草類も豊富。毎年5月のゴールデンウィーク期間中には、特産のテングサで作った手作りのところ天が格安で食べられる『ところ天まつり』が開催されます。会場の一角ではところ天づくりの実演がされるほか、熱々のサザエのつぼ焼きなども販売。手作りのところ天は、酢醤油だけでなく黒ミツや黒磯のり、特製ミソダレなどで召し上がれるので、いろいろな味を試してみたいはいかがでしょうか。

●『ところ天まつり』 5月1日(日)～5日(木祝) 午前10時～午後4時

場所: 初島港特設会場(熱海市初島港地内) お問い合わせ: 初島区事業協同組合 Tel 0557-67-1400

海鮮 & アシタバ etc..

初島港近くには食堂街があり、漁業を営むご主人たちがその日の朝漁をした魚を店の前の水槽に入れ、注文することによってその場でさばいてくれるので、新鮮な海産物も楽しめます。また、魚だけでなく特産の岩のりもオススメ。岩のりが丼やラーメンにてんこ盛りに入れられ、地元ならではの味わえます。

意外なのは、海に囲まれているので海産物だけかと思いきや、初島に自生しているアシタバも特産。島内唯一のスーパーでも販売されています。アシタバの天ぷらが絶品で、定食や丼と一緒に注文するお客さんも多いようです。ぜひ、一度味わってみてはいかがでしょうか。



◆初島へのアクセス

熱海港から船で25分
船は1日9便
※荒天の場合は運行しない場合があります。

<お問い合わせ>
富士急マリリゾート
Tel 0557-81-0541

遊

自然の中を駆け抜ける
第1回姫の沢トレイルランニング開催

4月16日(土)



日本の都市公園 100 選にも指定されている姫の沢公園。この姫の沢公園を会場に、第1回となる「姫の沢トレイルランニング」が開催されます。

トレイルランニングとは、未舗装の起伏のある山道をランニングする、大自然の景観を楽しみながら思いっきり走りぬけるスポーツ。初心者から楽しめるコースも用意されており、アフターパーティにはBBQも予定しているので、ぜひ参加してみたいかがですか(有料)。

◆お問合せ 日本スポーツコミュニケーション協会静岡営業所
TEL 0557-83-4820

食

意外とスイーツ
スイーツマップを片手に店めぐり

随時

熱海には昭和の文豪が愛した喫茶店など、昭和から続く昔ながらの味を守っているスイーツのお店があります。



春の道草さんぽで、スイーツめぐりしてみませんか。

◆お問合せ 熱海市観光推進室 TEL 0557-86-6195

見

GWはファミリーで
花とアスレチックを満喫!!

4月29日(金祝)~5月8日(日)

熱海駅からバス1本で行ける姫の沢公園では、「姫の沢公園花まつり」を開催します。アスレチックが常設なので、ファミリーで楽しめます。(入場無料)。



◆お問合せ 姫の沢公園管理事務所 TEL 0557-83-5301

見

熱海の春を芸妓の華で彩る
“第27回熱海をどり”

4月28日(木)~29日(金祝)

熱海芸妓最大の見せ場である『熱海をどり』。熱海芸妓見番歌舞練場にて、熱海芸妓が修練した踊りや三味線・唄などの伝統芸能を披露します(有料)。

華麗な舞をご堪能ください。

◆お問合せ 熱海芸妓見番 TEL 0557-81-3575



見

初夏を彩る紫色のブーケ
ジャカランダが見頃を迎えます

6月初旬~中旬に開花

熱海海岸沿いのお宮緑地に世界三大花木のジャカランダ遊歩道(国内都市部では最大集積)が平成26年に完成しました。

6月には小さな紫色の花が紫色のサクラのように咲き乱れ、梅雨空をパツと明るくしてくれます。

◆お問合せ 熱海市公園緑地室 TEL 0557-86-6218



見

熱海で春花火!! 「熱海海上花火大会」

4月9日(土)・5月14日(土)
20:20~20:45

熱海湾では、夏に先がけて春にも花火大会が開催されます。

温暖な熱海の春花火は、屋外で花火大会を見るにはオススメ。今年初の花火をゆったり楽しんでください。

◆お問合せ 熱海市観光協会
TEL 0557-85-2222



まだまだ、ある。イベントカレンダー

4月	10日	魚祭り(熱海魚市場)
	15日	伊豆山神社例大祭(伊豆山神社)
	3・4日	春のあたまビール祭り(渚親水公園)
	4・5日	春のそれ伊豆山伊勢海老磯まつり (伊豆山海岸)
5月	14・15日	TAKATA-FESTA in 熱海(渚親水公園)
	28日	湯かけまつり(泉公園)
	28・29日	南熱海お宿ゲルメ festa(長浜海浜公園)
6月	1~12日	ほたる観賞の夕べ(熱海梅園)

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

「自然公園の醍醐味」



さとう やすひろ
佐藤 康弘 さん

姫の沢公園施設施設長・少年自然の家所長

ー 日本の都市公園 100 選にも選定され、ゴールデンウィークには、花まつりで賑わう『姫の沢公園』の施設長にその魅力について伺いました。

佐藤 皆さんの都市公園のイメージは、街中の整備された公園といったイメージではないでしょうか。姫の沢公園は、昭和 50 年に山を切り開いた公園で、園内にはその起伏を生かしたアスレチックなども整備されています。また、夏にはホタルフクロなどや、秋には緑と紅葉のコントラストが美しい森林など、多種多様な樹木や野草があり、自然豊かな発見をする楽しみのある公園でもあります。

ー 姫の沢公園には、自然の家という宿泊施設もありますね。どのような方々が利用されるのですか。

佐藤 学校の宿泊訓練はもちろんですが、ファミリーで自然を体験できる体験学習なども主催しています。市街地などに住むファミリーの皆さんには、「流星が近く感じる」「雲海を初めて見た」というように自然を満喫していただいています。また、干物体験や木工工作などを通じて、子どもたちが道具の使い方や安全管理などを学ぶ機会ともなっています。

最近の子どもは、野外活動の機会が少ないため、虫に驚いたり、ご飯の研ぎ方も知らなかったりするので、カレーを作るのにも一苦労です。ですが、野外調理の仕方を覚えるなどの子どもたちの成長が見られるので、現場で子どもに指導をすることが楽しく、自分に向いている仕事だと思います。

ー 佐藤さんが姫の沢公園で、ここはオススメという場所があったら教えてください。

佐藤 姫の沢公園は、季節ごとに異なる花や樹木が楽しめるのでどの季節も良いですね。もちろん春のツツジやサツキ・サクラの花満開の時期も良いものですが、仲秋の名月の時期に、萩やススキに覆われるのもオススメしたい風景です。

また、自然だけでなく歴史を感じることでできるスポットもあります。姫の沢公園の周辺には、山岳信仰の行場として開基したと伝わる日金山東光寺の参道として、石仏の道というハイキングコースが整備されています。一丁（109 メートル）ごとに丁仏がたち、歴史を感じながらハイキングできるコースです。また、姫の沢公園の頂上部にある十国峠は世界遺産の富士山が望めるだけでなく、源実朝が箱根権現詣の際に詠んだ碑もあり、遠くは鎌倉時代に思いを馳せることもできます。



自然の家から望む雲海



姫の沢公園花まつり



十国峠から見える富士山

ー 最後に、佐藤さんは熱海で生まれ育ったということですが、“熱海のココスキ！”なことがありましたら教えてください。

佐藤 私は歴史が好きなのですが、古くからある旅館の風景や、石畳の坂道、水口町から来宮駅に抜けるまでの坂道、昭和レトロな喫茶店など、熱海の街中はぶらりと歩くと歴史を感じるものに多く出会います。そんな歴史を感じる街並みが好きです。

特に昭和レトロな風景は、自分の子ども時代を懐かしむだけでなく、ここにはケーブルカーができる計画があったりしたなど、あらためて思い返したりできる、そんな時間を与えてくれます。